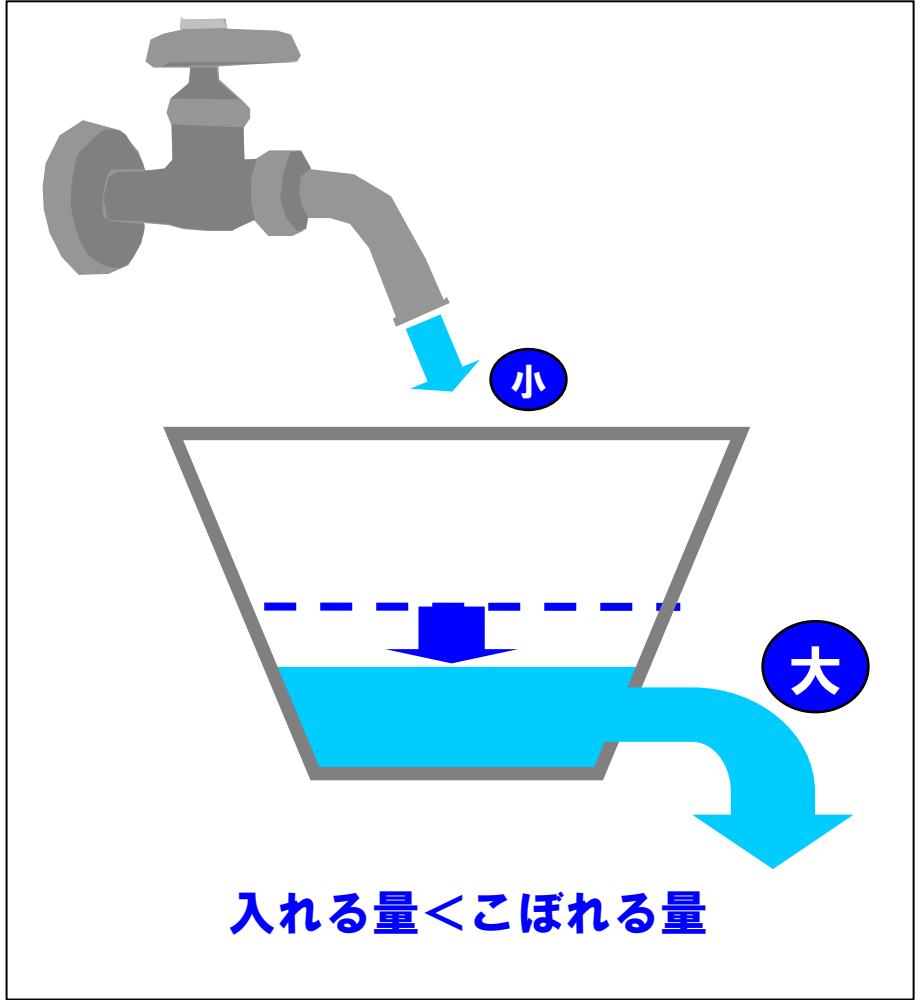
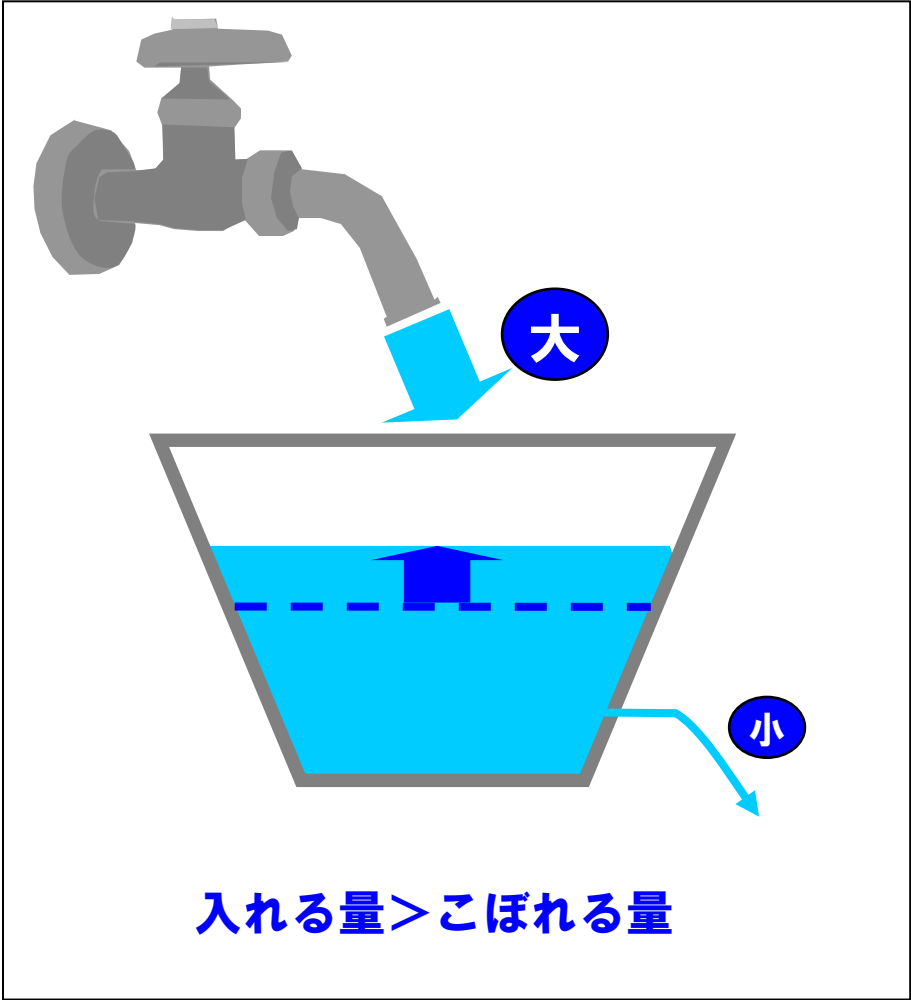


宮崎大学 村上准教授

説明資料

砂浜の侵食・堆積のメカニズム ①



バケツの水かさは増える



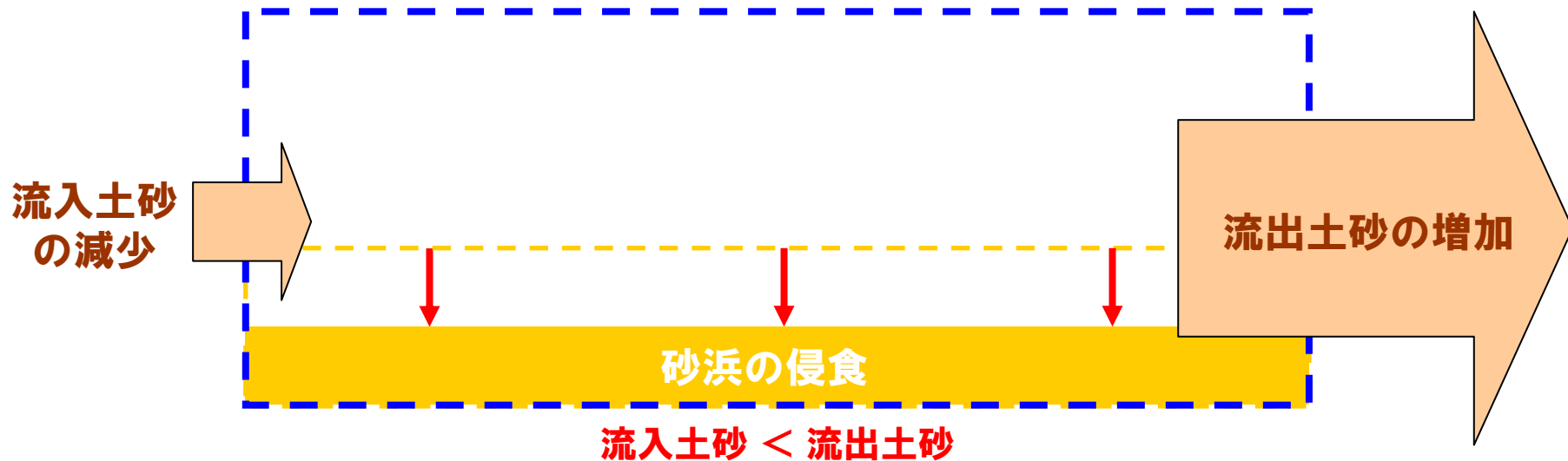
バケツの水かさは減る

砂浜の侵食・堆積のメカニズム ②

安定している砂浜

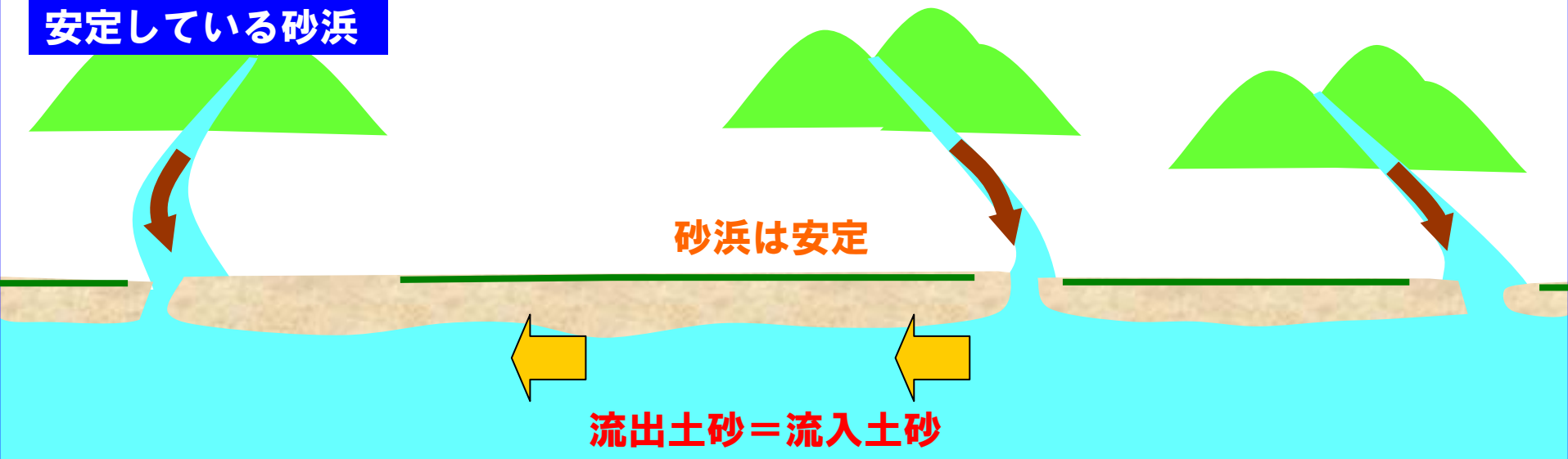


侵食が進行する砂浜

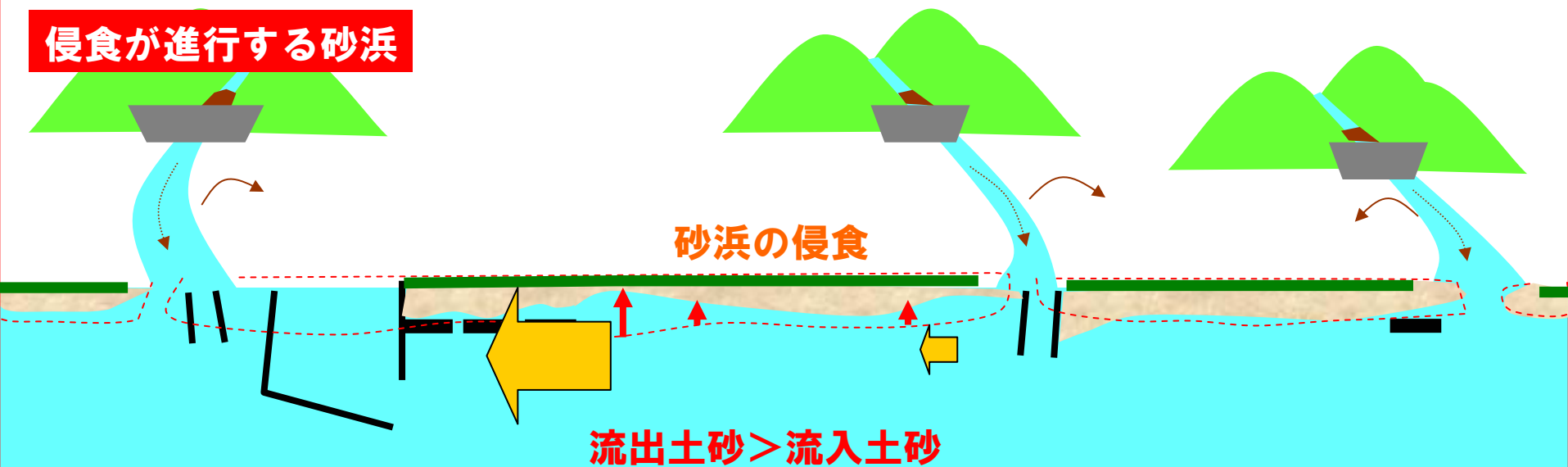


宮崎海岸における侵食メカニズム

安定している砂浜

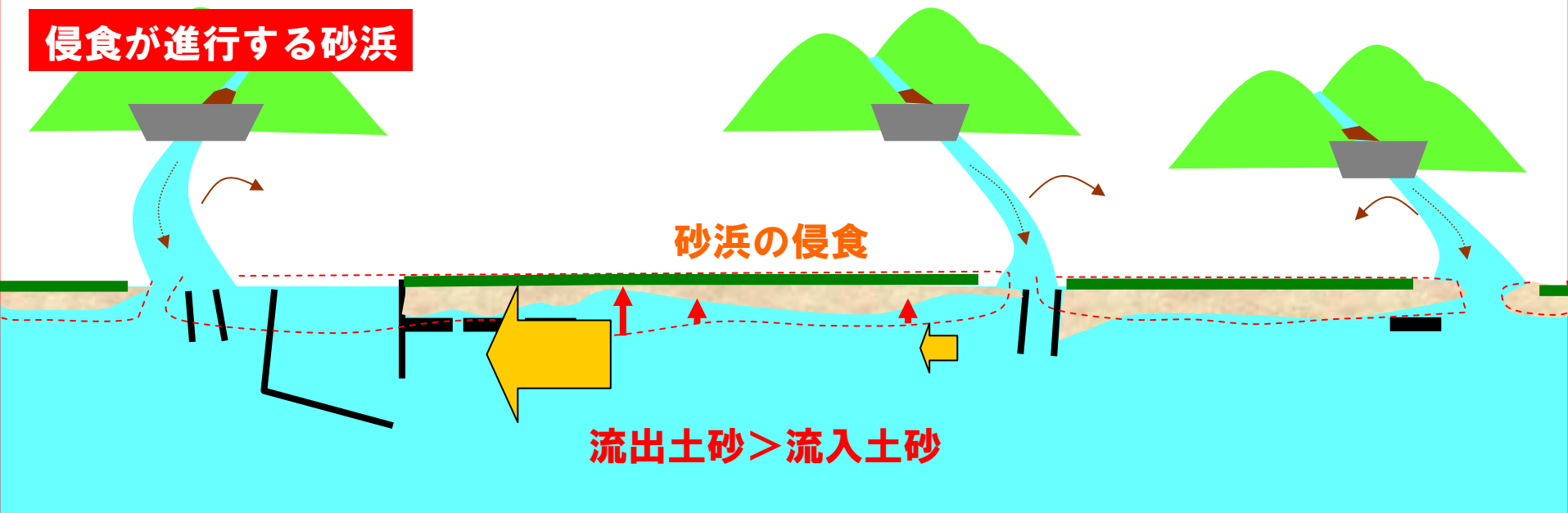


侵食が進行する砂浜

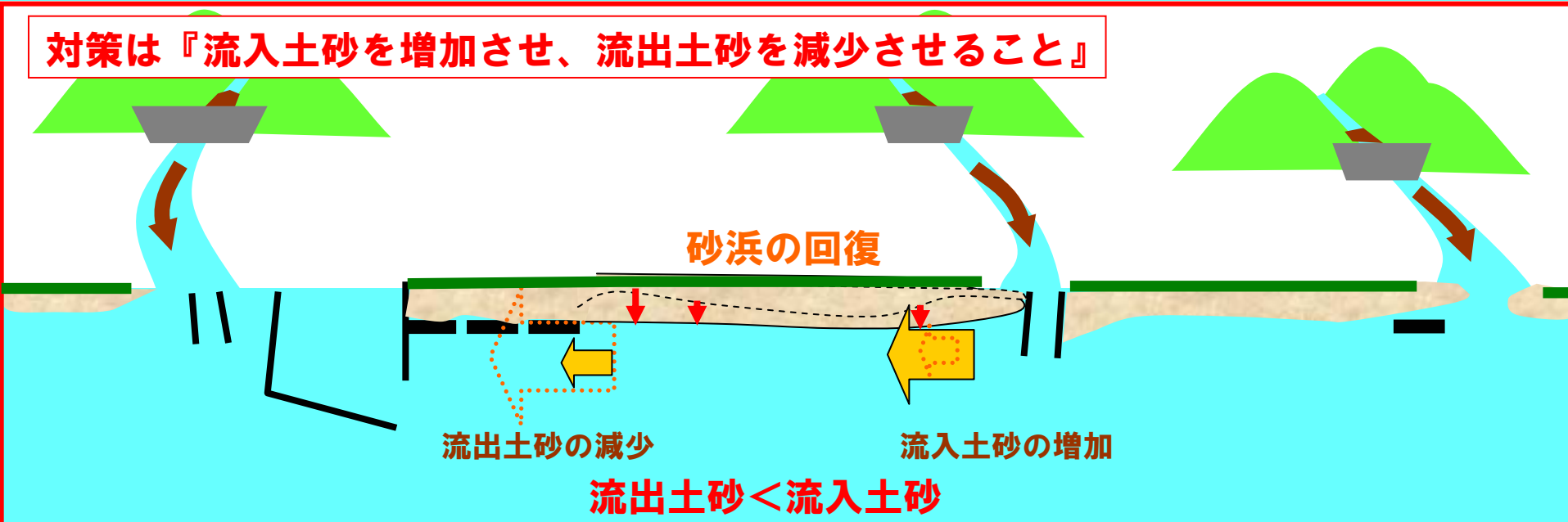


宮崎海岸における流砂系も含めた対策

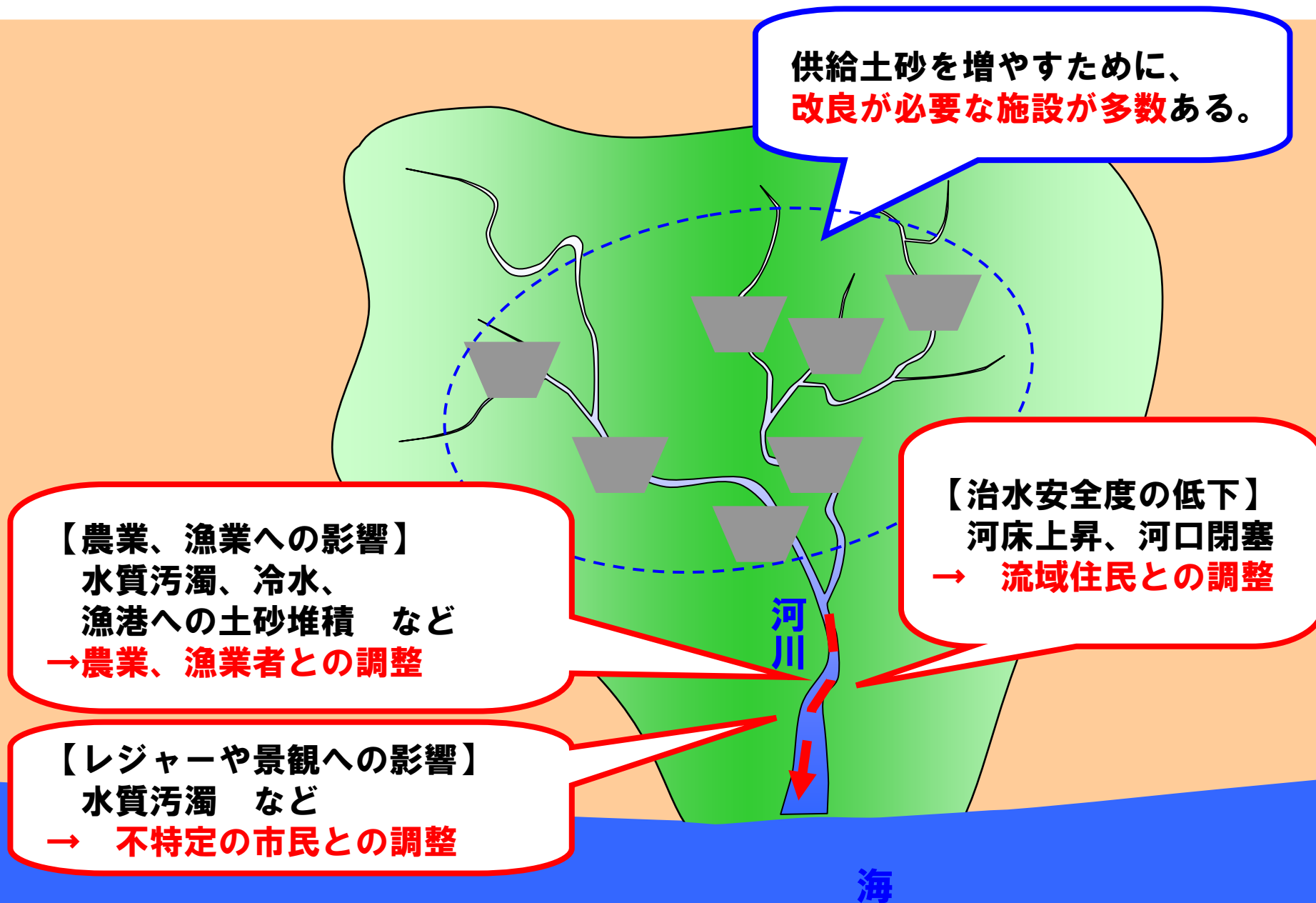
侵食が進行する砂浜



対策は『流入土砂を増加させ、流出土砂を減少させること』



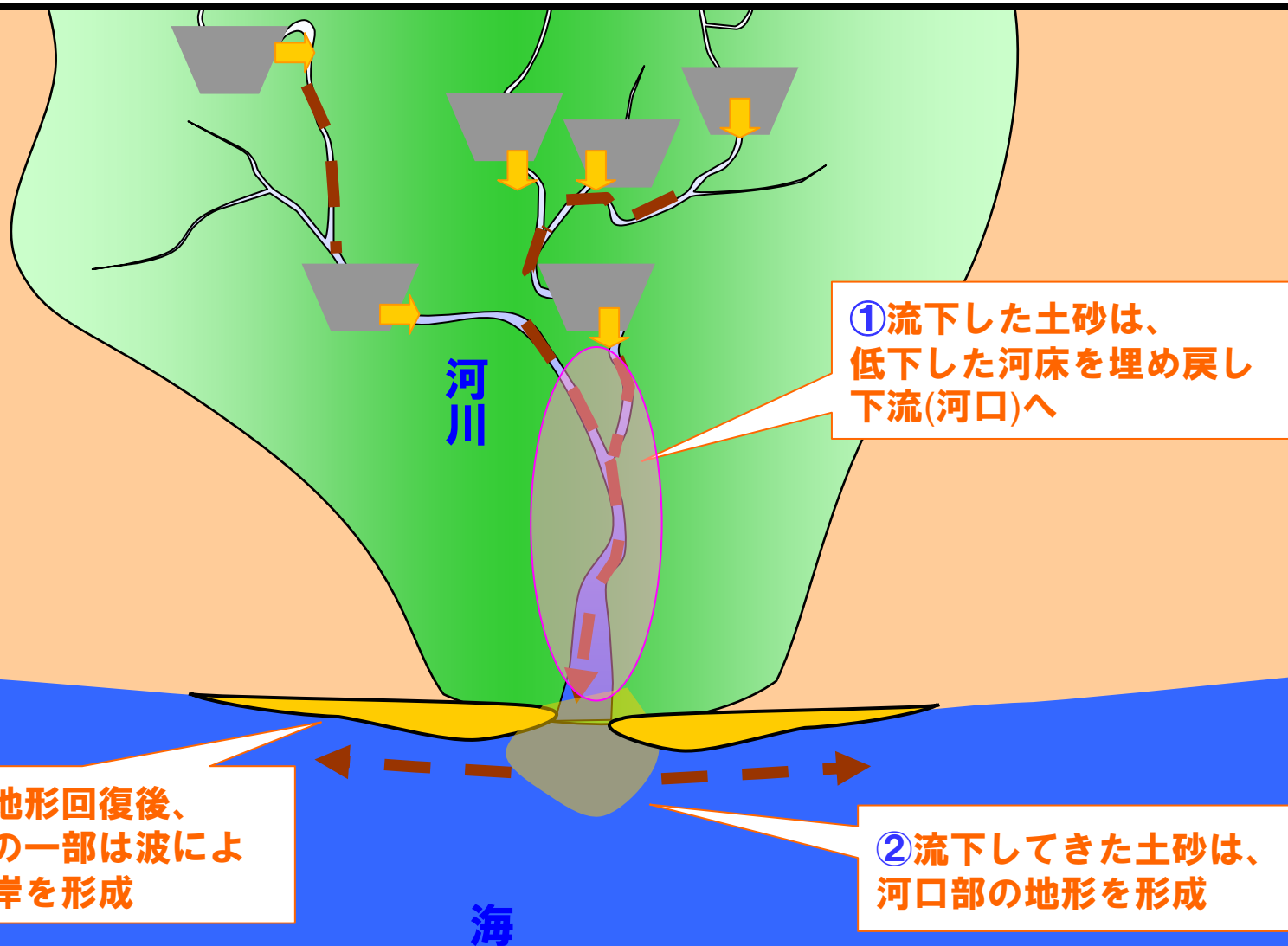
流砂系での対策の課題 ①



流砂系での対策の課題 ②

河川から自然流下する土砂はすぐには海岸へ到達しないため、現在進行している侵食への効果の発現に時間を要する。

※自然流下する土砂は、上流から①～③の経過を経て海岸に到達。



宮崎海岸における対策(中長期的な取り組みと緊急的な取り組み)

～第4回技術分科会資料より～

《中長期的な取り組み》

流砂系の観点からの取り組みを進め、侵食箇所に影響を及ぼすと考えられる山地、河川及び海岸部における土砂の流れを円滑化し、宮崎海岸に供給される土砂量を増やす。

《緊急的な取り組み》

※目安：5～10年程度までに実施すべき取り組み

流砂系の観点から河川、港湾等と連携した養浜など短期的に実施可能な取り組みを進め、宮崎海岸に供給される土砂量を増やすこと、または、漂砂の制御により宮崎海岸から流出する土砂量を減らすこととの組み合わせにより、宮崎海岸の海浜土砂量の回復・維持を目指す。

宮崎海岸における対策（緊急的な取り組み）

◆供給される土砂量を増やすこと

【一般的な対策工法】→養浜（サンドリサイクル、バイパス含む）

◆漂砂の制御により流出する土砂量を減らすこと

【一般的な対策工法】→突堤、離岸堤、人工リーフ など